

法政大学 通信教育部  
(スクーリング)

「経済学入門B／経済学入門Ⅱ」  
履修ガイダンス

担当教員：ブー・トゥン・カイ (Vu Tuan Khai)

# 授業の概要と目的

---

- **本講義の目的はマクロ経済学の基礎を学ぶことである。**
- マクロ経済学とは経済全体を研究対象とする経済学の一分野である。
- 本講義では、マクロ経済の指標の理解や活用、景気変動やインフレーション、失業、経済成長、外国経済との相互作用などの現象やその背後にあるメカニズム、さらに金融政策や財政政策などのマクロ経済政策について学ぶ。

# 到達目標

---

- コースを通して、受講者がマクロ経済の指標、マクロ経済の動き、マクロ経済政策が果たしうる役割などについてしっかりと理解できるようになること、さらに、現実のマクロ経済問題に関心を持ち、その理解を応用して問題を分析できるようになることを目標とする。

# 授業計画

	テーマ	内容
1	マクロ経済学の紹介	マクロ経済学の対象や考え方、分析方法など
2	マクロ経済を観察する (1)	経済規模 (GDP) の計測
3	マクロ経済を観察する (2)	物価・労働・景気の計測
4	マクロ経済を支える金融市場	金融市場の仕組みや役割
5	貨幣と中央銀行	貨幣の機能と中央銀行の役割
6	財政	財政とは何か、その仕組みと機能
7	マクロ経済学の基本モデル (1)	消費と所得、GDPの決定
8	マクロ経済学の基本モデル (2)	投資と金利、貨幣市場と金利、IS-LMモデル
9	景気変動とマクロ経済政策	総需要・総供給モデルを用いる総生産と物価の決定の分析
10	インフレとデフレ	物価変動の影響と決定要因
11	国際収支	対外取引の計測、為替市場と為替レート
12	為替レートとマクロ経済	金利平価と為替レートの決定、外国経済と自国経済との関わり
13	経済成長	経済成長の定義や実際、メカニズム
14	資産価格	日本経済のバブルとその崩壊、資産価格の決まり方

## テキスト・参考書

---

- テキスト：『マクロ経済学—入門の「一步前」から応用まで第3版』、平口良司・稲葉大著、有斐閣 2023年.
- 参考書
  1. 『やさしいマクロ経済学』、塩路悦朗著、日経BPマーケティング（日本経済新聞出版）；New版 2019年.
  2. 『コア・テキストマクロ経済学 第2版』、宮尾龍蔵著、新世社 2017年.
  3. 『マクロ経済学・入門第6版』（有斐閣アルマBasic）、福田慎一・照山博司著、有斐閣 2023年.
  4. 『マンキューマクロ経済学I入門篇(第5版)』、N・グレゴリー・マンキュー著、足立英之・地主敏樹・中谷武・柳川隆翻訳、東洋経済新報社 2024年.
  5. 4.の続編『マンキューマクロ経済学Ⅱ応用篇(第5版)』.

## その他（講義ノートや関連科目等）

---

- **講義ノート：**

受講者は、講義ノートを入手し、学習資料として利用可能。

- **関連科目：**

「経済学入門A／経済学入門Ⅰ」の履修、若しくは入門レベルのミクロ経済学の学習（独学も含め）をしてから本講義を履修すると望ましい。

- **学習方法：**

大学での学びの特徴の一つは、体系的な知識の習得である。その過程で、学習内容を理解し、思考能力を形成するためには、コンスタントに勉強に取り組むことがとても大切である。「塵も積もれば山となる」という諺のごとく、日々の努力の積み重ねがやがて大きな成果につながる。